

特別展

(1階展示室) おかやま県民文化祭参加

小手鞠るい

—本の世界—



～ただそこにその形があるだけで、本は私たちを幸せにしてくれる～

撮影：吉成行夫

2024.9.8(日) — 11.17(日)

吉備路文学館“初”！
会期にあわせて新刊2冊発刊！

『つい昨日のできごと』(平凡社)
『わたしの猫、永遠』(潮出版社)

併催：企画展「吉備路近代文学の7人展」(2階展示室)

開館：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日(9/17、9/24、10/15、11/5)

入館料：一般400円、大学・高校生300円、中学・小学生200円

*シルバー割など各種割引あり

後援：中国銀行 岡山県郷土文化財団
岡山市文学賞運営委員会

晴れの国カード
ICOCA
両方使えます！

PayPay Jcoin

～ほくちらにとって「原爆」とはなんだったのか？～

劇団うりんこ「ある晴れた夏の朝」上映会

原作：小手鞠るい『ある晴れた夏の朝』(偕成社刊、文春文庫刊)

脚本・演出：北村直樹(人形芝居ひつじのカンパニー)

美術：乗峯雅寛/照明：若狭慶大/音楽・音響：内田アタチ

衣装：木場絵理香/宣伝美術：伊藤祐基/イラスト：タムラフキコ

写真：服部義安/映像：山内崇裕/写真出典元：Wikipedia・時事通信フォト

内容：2023年5月「劇団うりんこ」により上演された舞台の上映会&解説

日時：第一回…令和6年10月13日(日) 13:30～15:20

第二回…令和6年11月3日(日・祝) 13:30～15:20

会場：吉備路文学館2階北泉ホール

定員：各40名(要予約・先着順)

参加費：入館料でご参加いただけます。

申込方法：お電話(086-223-7411)にて、ご希望の日時を指定し、お申込みください。

「本」から「舞台」へ



『ある晴れた夏の朝』
(偕成社/2018年)



『ある晴れた夏の朝』
(文藝春秋(文春文庫)/2024年)



「日本語」から「英語」へ

『On A Bright Summer Morning』
[英文版]『ある晴れた夏の朝』
訳：グレン・サリバン
(偕成社/2021年)



～音楽とともに楽しむ小手鞠るい作品朗読会～「おはなしの森からのおたより」

出演：朗読グループ「おはなしのWA♪」

朗読作品：『今夜もそっとおやすみなさい』

『つい昨日のできごと』(最新刊)

日時：令和6年11月17日(日) 14:00～15:30

会場：吉備路文学館2階北泉ホール

定員：50名(要予約・先着順)

参加費：入館料でご参加いただけます。

申込方法：お電話(086-223-7411)にてお申込みください。



おはなしのWA♪



写真提供：おはなしのWA♪

吉備路文学館
KIBIJI LITERARY MUSEUM

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-5-35
TEL(086)223-7411 FAX(086)223-7418
<http://www.kibiji.or.jp>



講談社の絵本がこんなに…(4歳のころ)

特別展 小手鞠るい 一本の世界

～ただそこにその形があるだけで、本は私たちを幸せにしてくれる～

岡山県備前市出身の作家 小手鞠るいが、「職業として成り立つような物書きになりたい」と小説の執筆に本腰を入れて今年で40年。幼少期に祖母に読み聞かせてもらった名作絵本にはじまり、両親からふんだんに買い与えてもらった本、中学生の時は、図書室の本を全て読破する「筋金入りの本の虫」だったと振り返る。今や、アメリカニューヨーク州ウッドストックの森の中より常に故郷岡山に想いを寄せながら、精力的に執筆活動が続け「本」を届ける。本特別展では、著作本や原稿資料、愛用品とともに、小手鞠るいの本の世界へご案内します。



小手鞠るい 略歴



- 1956年 岡山県備前市浦伊部に生まれる。
- 1968年 岡山市一宮へ引っ越し、中山中学校へ入学。図書館へ入り浸る。
- 1974年 岡山朝日高等学校を経て同志社大学法学部法律学科へ入学。
- 1978年 大学卒業後、美術系出版社で働きながら「詩とメルヘン」へ投稿。
- 1980年 詩集『空はなにいろ』を自費出版。
- 1981年 サンリオ「詩とメルヘン賞」受賞。やなせたかしと出会う。
- 1985年 アルバイト先の書店で、のちに夫となるアメリカ人男性と知り合う。
- 1987年 雑誌のフリーライターとなる。
- 岡山県出身の詩人、飯島耕一主催の「サッフォの会」へ参加。
- 1992年 一緒に暮らしていた恋人と結婚、渡米する。
- 動物保護センターから猫のプリンを引き取り養子にする。
- 1993年 「おとぎ話」で海燕新人文学賞受賞。
- 1995年 第一作品集『玉手箱』刊行。
- 2005年 『欲しいのは、あなただけ』で第十二回島清恋愛文学賞受賞。
- 2006年 『エンキョリレンアイ』がベストセラーとなる。
- 2009年 絵本『ルウとリンデン 旅とおるすばん』でボローニャ国際児童図書賞受賞。
- 2012年 岡山を舞台にした『望月青果店』が話題となりラジオドラマ化される。
- 2015年 やなせたかし氏への追悼作として『優しいライオン やなせたかし先生からの贈り物』、『テルアビブの犬』出版。
- 2017年 『アップルソング』がNHKラジオ第一放送でドラマ化される。
- 2019年 『ある晴れた夏の朝』が第六十五回青少年読書感想文コンクール課題図書に選出される。同作は、日本子どもの本研究会第三回作品賞および第六十八回小学館児童出版文化賞を受賞。
- 2021年 『ぼくたちの緑の星』が第三十七回うつつのみやこども賞を受賞。
- 2022年 『サステナブル・ビーチ』が福井市こどもの本大賞物語部門受賞。母親との思い出を題材とした絵本『うちのおかあちゃん』、エッセイ『お母ちゃんの鬼退治』出版。
- 2023年 『ラストは初めから決まっていた』、『未来地図』の舞台となった奈良県王寺町より「王寺町国際親善大使&王寺町立図書館名誉館長」に任命される。
- 戦争の記憶を伝えるため、父 川滝喜正氏のスケッチを挿絵に『川滝少年のスケッチブック』を出版。



『空はなにいろ』
(正栄堂／1980年)



『玉手箱』
(ベネッセコーポレーション／1995年)



『欲しいのは、あなただけ』
(新潮社／2004年)



『ルウとリンデン 旅とおるすばん』
(講談社／2008年)



『優しいライオン
やなせたかし先生からの贈り物』
(講談社／2015年)



『テルアビブの犬』
(文藝春秋／2015年)



『お母ちゃんの鬼退治』
(偕成社／2022年)



『未来地図』
(原書房／2023年)



『川滝少年のスケッチブック』
(講談社／2023年)

北泉庭のご案内



吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。

春夏秋冬

四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。



秋の庭

〈交通のご案内〉 JRでお越しの方：岡山駅より徒歩15分、タクシー3分
バスでお越しの方：岡電バス(妙善寺・三野公園)行、または宇野バス(美作方面)行で「南方交番前」下車徒歩3分
お車でお越しの方：文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。

